

委員会議報

総務常任委員会

9月17日午前10時から、下仁田町文化ホール研修室で、付託された陳情3件について審査いたしました。集团的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書採択を求める陳情・「集团的自衛権行使を容認の「閣議決定」を撤回すること」を求める意見書採択を求める陳情書」も提出されており、双方は関連する陳情であるので一括して協議しました。

委員からは、集团的自衛権行使容認の解釈については、すでに閣議決定はされているが、日本が紛争に加わることは反対であり、今後、国会における関連法案の提出も含めて経過を見守る必要があるのではないかとの意見があり、継続審査としました。

次に、「2015年NP T再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書採択の陳情」は、委員から日本は非核三原則を保持する国であり、核兵器全面禁止の立場であると思うとの意見があり、全会一致をもって採択しました。

社会経済常任委員会

9月16日午前10時から文化ホール2階研修室において、審査いたしました。

手話言語法制定を求める意見書提出を求める陳情書を議題とし、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広めることは必要である等の意見が出され、慎重審査の結果、全会一致をもって採択しました。

予算決算特別委員会 補正予算・決算を審議

平成26年度下仁田町一般会計補正予算

委員 公民館費の357千円は雪害によると聞いたが場所と金額について。

公民館係長 保健センター北側の屋根です。雪の被害で屋根を修理しました。172,800円の修繕料で保健センターと50%按分して86,400円が公民館分です。他に冷房装置の老朽化で、冷房が漏れて空調機を修理しました。金額は、270千円です。

委員 ふるさとセンター費文化財調査保護事業の中で荒船風穴ジオラマ作成業務委託費約600万円計上されているが、経緯と金額の適正について。

文化財保護係長 群馬県の事業で（仮称）世界遺産センターの設置計画があり、借用しているジオラマを返却しなければならず、その代替としてジオラマを作成するものです。なお、本年度の調査結果を反映させること、西側の風穴の冷風を生む区域も含めるため奥行きが50cmほど大きくなる形で専門業者から見積を取った金額となっております。

委員 有害鳥獣駆除対策は。

農林係長 猿追い払い員の賃金で、当初昨年同様5名分の賃金で計上したが、2名から辞職希望があり3名体制でまわしている。3名でも一年間携わって慣れできたため、間に合っている状態である。今後2名減でやれそうなため約2,300千円の減額を計上した。

委員 下仁田町経営体育成支援事業は。

農林係長 本年2月に発生した農業用施設の雪害に対する支援事業で6月の補正予算のときは54人、138施設で申請した。その後本申請をするにあたり最終確認と見積もりの精査をしたところ、10名減って44人、99施設での申請となったため今回の減額となった。

委員 要因は大口の見積もりをしていた農業者が取り下げをしたため、1件で約5,000万円近く減った。理由として鉄骨ハウスを再建した場合の今後の耐用年数14年をクリアするのが難しいため、最小限の補修で続けていくこととなった。また、本申請のときに補助金を切られないように、当初はかなり高い見積りを出してきたが、実際に精査したところかなりの減額となった。

委員 観光費について、積算根拠等を示してもらいたい。

町長 町の観光協会に専門家を招いて町の活性化に結びつける政策です。

議員 補助金増額の内訳は。

商観係長 主に人件費が336万円、活動費が271万円です。

委員 当初予算は観光協会を案内するようなことでしたが、今後それらをパッケージ化しツアーの提案を観光業者などに売り込んでいくことをしていくと聞いております。



観光案内所